



テレビや新聞の記者が数多く集まりました

村で唯一の帰還困難区域・長泥行政区の復興に関する「特定復興再生拠点区域復興再生計画（案）」がまとまり、村・村議会・行政区が記者発表を行いました。計画案は、「居住促進ゾーン」「農の再生ゾーン」など約186haの範囲を平成35年春までに整備し、避難指示が順次解除されることを目指しています。この計画案は、同日県へ提出されました。

きつつきの会（齋藤政行会長／前田）が、1泊2日の研修旅行を実施し、職員派遣や招待事業などで、長期の支援をいただいている群馬県高崎市を訪れました。一行は、高崎市役所を訪問し、復興の現状などを報告。応援職員として村役場に勤務した方々とも会い、「お世話になりました」「おかげさまで一歩一歩復興が進んでいます」と感謝を伝えました。



応援職員としてお世話になった皆さんと交流



「希望が持てる計画ができた」と嶋原良友区長(左)

長泥行政区

3/8

2/19・20

きつつきの会
(川俣自治会)



高崎市役所のホールにて職員さん達と記念撮影



体に良い材料を使い心をこめて1枚1枚を手作り

食を考える会

3/12

2/24

交流センター
ふれ愛館



約150人がお茶とケーキ付きでライブを満喫



10人の会員が中学校を訪れ祝い菓子を手渡しました

「食を考える会（菅野一代会長／比曾）」が、飯館中学校の3年生に「卒業祝い菓子」を贈りました。祝い菓子のクッキーは、ホウレンソウ入りと、顆粒大豆・白ごま入りの2種類。当日の朝、地域活性化センター「いちばん館」で手作りしました。中学校では菅野会長があいさつし、「中学校を新しい村の学校にしたいと、ありがとうございます」と感謝を伝え、卒業を祝いました。

交流センター自主文化事業「いたてティーパーティー」の二環で開かれた「白崎映美&東北6県ろくろショー!!」。東北に想いを寄せる実力派ミュージシャンが集結し、ロックやジャズに、民謡や民俗芸能を融合させた祝祭音楽を演奏。魂を揺さぶる熱いライブで聴衆を魅了しました。また、飯館中学校の生徒達が、伝承に取り組む田植え踊りを披露。ステージを盛り上げました。



田植え踊りを披露した中学生とのセッション